

救助隊行事への隊員以外の参加について

今年度の行事のうち、下記の2行事を11月に予定しています。

隊員以外にも、可能な範囲で公開してほしいというご意見がありましたので、参加希望を正式に募ります。

参加希望がございましたら9月末日までに

- 参加者氏名
- 参加者の所属会
- 参加希望の行事 ①室内学習会、②野外技術訓練、或いは①②両行事
- 直接ご本人へ返信可能なメールアドレスと携帯番号
(直前の連絡がある場合の為)
- ②の野外技術訓練参加希望の方は、緊急時連絡先電話番号

以上4事項或いは5事項を必ずお知らせください

参加申し込み(質問等)は下記アドレス(町田救助隊長)へ、参加希望者ご本人から直接お願いします。

machida.syuichi@gmail.com

なお室内学習会は防災上の入室制限により、野外技術訓練は安全管理上、参加可能人数に限りがあります。参加人数が増えた場合、参加申込のメールが届いた順で参加メンバーを決定いたします。その場合、参加をお断りせざるを得ない場合がある事、予めご了解ください。

また救助隊の両行事は講習会ではなく、飽くまで参加者による技術向上の為の相互研修会です。講師と受講者という形の行事ではありませんので、その点もご了解ください。

① 室内学習会

【実施目的】

CPR(胸骨圧迫)による血圧60mmHg以上を保つ練習

(60mmHgは心肺停止時に脳へのダメージを軽減出来る目標数値)

医療者訓練専用人形を使用し、CPRによる効果を0%~100%の間で数値評価し、胸骨圧迫技術の向上を図る。(実際に目標達成率が表示されます)

【実施期日】

11月11日(月曜日) 19:00~21:10

【実施場所】

浦和コミュニティーセンター（浦和パルコビル）10F 第 13 集会室

【参加に必要な装備等】

胸骨圧迫時に人形の身体を跨いで膝を着くので、対応可能な服装

【参加に必要な条件】

体重を掛け胸骨圧迫を 1 分間続けられる体力

② 野外技術訓練

【実施目的】

急斜面の下方向、約 100m に居る怪我人（要救助者）ポイントへの懸垂下降並びにローダウンを、よりスムーズに行う、コンパニオンレスキュー若しくはチームレスキュー練習（状況に依り要救助者を背負い持ち上げる）

【実施期日】

11 月 17 日（日曜日）

【実施場所】

懸垂支点或いはローダウン確保支点より急斜面を約 100m 下降出来る場所を予定しています。実際の場所（集合地・集合時刻を含む）は、参加者へ直接連絡いたします。

【参加に必要な装備等】

ヘルメット、レグループハーネス、安全環付カラビナ 2、エイト環（ATC、ルベルソ等での代替は不可）、懸垂下降用手袋、健康保険証
※※※訓練に必要なその他の装備は救助隊備品を使用します。

【参加に必要な条件】

●懸垂下降時の安全管理を自律して出来る事。なおクライミング能力は特別必要ありません。

●山岳事故対策基金、その他の山岳遭難保険に加入済の事

【その他の注意事項】

訓練の主旨から、既存のルートではない場所での実施となります。安全管理に関しても、相互信頼、相互チェックが原則です。懸垂下降時、ローダウン時のバックアップビレー確認も、参加者全員による相互確認行動に、積極的に参加してください。

※※※用語解説

セルフレスキュー・・・遭難者本人による自己救助活動

コンパニオンレスキュー・・・同一パーティ、付近にいた人に依る救助活動

チームレスキュー・・・救助隊等、予め組織されたチームによる救助活動